

2022.05.08. 信仰は行いを生じる

ヤコブの手紙 2 章 14～26 節

JD ファラグ牧師

主の祝福がありますように。ようこそ！ では、お座りください。お母様方、祝福ある幸せな母の日おめでとうございます。神の祝福がありますように。お集まりくださり大変嬉しいです。オンラインで参加されている方々も、母の日おめでとうございます。第二礼拝は「ヤコブの手紙」を一節ずつ学びます。今日は、先週の続き、2 章 14 節からです。主の御心なら、今日で 2 章を学び終えます。ここにいらっしゃる方で、可能な方はお立ちください。私が読みますので、ついてきてください。ご無理な方は、座ったままで結構です。聖霊に導かれヤコブが書いています。14 節から、

ヤコブ 2

14 私の兄弟たち。だれかが自分には信仰があると言っても、その人に行いがないなら、何の役に立つでしょうか。そのような信仰がその人を救うことができるでしょうか。

15 兄弟が姉妹に着る物がなく、毎日の食べ物にも事欠いているようなときに、

16 あなたがたのうちのだれかが、その人たちに、「安心して行きなさい。温まりなさい。満腹になるまで食べなさい」と言っても、からだに必要な物を与えなければ、何の役に立つでしょう。

17 同じように、信仰も行いが伴わないなら、それだけでは死んだものです。

18 しかし、「ある人には信仰があるが、ほかの人には行いがあります」と言う人がいるでしょう。行いのないあなたの信仰を私に見せてください。私は行いによって、自分の信仰をあなたに見せてあげます。

19 あなたは、神は唯一だと信じています。立派なことです。ですが、悪霊どもも信じて、身震いしています。

20 ああ愚かな人よ。(皆さん、ヤコブを愛しちゃうでしょ?) あなたは、行いのない信仰が無益なことを知りたいのですか。

21 私たちの父アブラハムは、その子イサクを祭壇に献げたとき、行いによって義と認められたではありませんか。

22 あなたが見ているとおり、信仰がその行いとともに働き、信仰は行いによって完成されました。

23 「アブラハムは神を信じた。それで、それが彼の義と認められた」という聖書のことばが実現し、彼は神の友と呼ばれたのです。

24 人は行いによって義と認められるのであって、信仰だけによるのではないことが分かるでしょう。

25 同じように遊女ラハブも、使者たちを招き入れ、別の道から送り出したので、その行いによって義と認められたではありませんか。

26 からだが霊を欠いては死んでいるのと同じように、信仰も行いを欠いては死んでいるのです。

かなり自明ですね。祈って、終わりにしましょうか? —(笑)— お祈りしましょう。

天のお父様、感謝します。わお～ 今日、私たちの前にあるこの聖句は、私たちに、教師で導き手として聖霊が、本当に必要だというレベルに達する箇所です。ここには、私たちの信仰に関して、単に聞くだけでなく、心に留める御言葉がたくさんあります。ですから、主よ、どうか今日、私たちが共に過ごすこの時間で、あなたが私たちに見せられたいものを示し、あなたが私たちに聞かせられたいものをお語りください。主よ、お語りください。あなたのしもべが聞いています。イエスの御名によってお祈りします。

アーメン、アーメン。ご着席ください。ありがとうございます。今日の説教でお話ししたいのは、一見、矛盾や逆説に聞こえるようですが、「信仰は行いが生じる」と題しました。「信仰による行い」という題目にしようと思ったのですが、それでは意味が違います。ですから「信仰は行いが生じる」としました。これは、いささか矛盾しているようなのは分かっていますが、ここに真理があり、「行いは信仰の証拠」なのです。そう、私たちはキリストを信じる信仰によってのみ、恵みによってのみ救われます。(エペソ 2:8 参照)

しかし、その結果として、行い、あるいは善行が必ず生まれます。このことを説明する最も良い方法は信仰だけで救われますが、救われる信仰はそれだけではなく良い行いが伴います。ところでこれは、この機会に説明しておいた方がいいでしょう。サタンが皆さんに理解して欲しくない神の御言葉の1つです。サタンは雑念や考えを持ち出し、あなたに礼拝後何をしようか、隣には誰が座っているかなどと、考えさせようとします。隣の席の人を見てはいけませんよ。なぜなら、サタンはあなたに、これを聞かせたくないからです。この特別な一節は、あらゆる意味で考え方を根本から変えます。ですから、今日、神が私たちになさることから、敵に気を逸らされたり、心が離されてしまわないようにしてください。信仰だけで救われるのですが、救われる信仰は、それ単独ではなく、その信仰には、善行も伴います。また、ある人は上手くこう言います。『人を救うのは、信仰と行いではない。信仰でもなく、行いでもなく、信仰から生じる行いである。』使徒パウロがエペソの教会に書いたように、私たちは恵みによって、信仰によって救われるのであって、行いによって救われるものではありません。「エペソ人への手紙 2 章 8-9 節」に記されています。

## エペソ 2

**8 この恵みのゆえに、あなたがたは信仰によって救われたのです。それはあなたがたから出たことではなく、神の賜物です。**

**9 行いによるものではありません。だれも誇ることのないためです。**

よく聞いてください。私たちは、信仰によって恵みによって救われます。行いは救いに関係ありません。救われた証拠となるものを除いて。それを今からお話しします。それが、ヤコブが言っていることで、つまり、ズバツとそのまま語ります。

「あなたは言う。自分には信仰がある、私には行いがある。いいでしょう。」彼は、いいでしょうとは言わなかったですが。「私の信仰を行いで示しましょう。」つまり、「自分の信仰を口に出せ」です。

そうだった？ そうですよ。そうだと行ってくださいよ。-(笑)- 「あなたは信仰があると言うけれど、私はあなたを見ていると、本当？と思う。」信仰があると言うのは勝手だが...「ああ、私は神を信じてるさ。」「わお！すごい！」「しかし、悪魔も神を信じてるんだ！ どうだ？」つまり、考えてみて下さい。無神論者の悪魔なんて絶対いません。-(笑)- 皆さん、分かって下さってどうもありがとうございます。考えてみてください。そうでしょう？ 悪魔は、、もしも〜し、もちろん神を信じていますよ。悪魔たちは神を信じ、イエスさえも信じ、イエスが、神の子で、子なる神だと分かっています。ですから、あなたがたがそれ。「はい（神を）信じてます。」と言うなら、「OK。あなたがたは悪魔みたいだ。」こんな風に、人に言っちゃダメですよ。でないと、大変なことになりますよ。-(笑)- 最初から敵対的で戦闘的な会話を始めるのは、いいですけど、しかし丁重にね。では、なぜこのように始めなければならないのでしょうか。なぜなら、この基本的な理解がないと、今日、私たちに与えられてる御言葉を誤解釈してしまうからです。なぜなら、サタンはすぐそこにいて、悲しいことに、クリスチャンに、信仰と行いの間の境界線を

曖昧にさせるのに大成功を収めているからです。ですから、私たちは、どちらかの極端に行くのです。

「私は信じています。信仰があります。私はキリストへの信仰を公言します。」「OK。それを見せて下さい。」「いえいえ、信じています。」「あ、こっちに悪魔がいる。紹介しよう。」これって・・・。やりすぎですかね？ 皆さんポイントは分かりますね。

ですから、ヤコブはわざわざ「行いの伴わない信仰は無益だ」と説明しているのです。実際、それは死んだ信仰です。そこで、私が皆さんに共有したいのは、3つを見つけました。もっとあるかもしれませんが。というのも、牧師はいつも説教を3つのポイントに整理して話すでしょ？信仰は、私たちの善行と行いが証拠である3つの理由があります。

1つ目は14節から16節にあります。信仰は救いの証拠であって、救いに必要なものではないということに気をつけましょう。繰り返しますが、敵はこうしようとしますよ。「行いが、、、」いやいや、まだです。まだ。私は信仰によって、恵みによって救われ、それから、信仰の証拠として行いが生じるのです。ヤコブがはっきりと語っているのは、誰でも信仰があると主張することはできるが、それに伴う行いがなければ、救われる信仰ではないということです。つまり、あなたが信仰があると主張するなら、それは、行いによって証明されるべきで、それがあなたが救われている証拠となります。言い過ぎかもしれませんが、あの歌、童謡を思い浮かべてしまうんです。♪『救われ、それを知っているならば、あなたの人生は必ずそれを示すでしょう』♪ 真実です！「あなたは信仰があると主張する。救われたと言っている。でも、先週話したような審判ではなく、実（み）の検査員です。なぜなら、その実によって、分かるからです。「あなたの実を見てるんだけど、どこにある？」「あなたの主張の根っこからは、実がなっていないんですよ。」ここで2つ目に入ります。理由はすぐ分かると思います。17節から20節でヤコブは、それがどのように、行動によって証明されるかを説明しているからです。彼は今までと同じように、また良い例を持ち出します。ヤコブが書いている

「信仰も行いが伴わないなら、それだけでは死んだものです。(17節)」に、その強さを感じずにはいられません。そして、ここで彼は、読む人が、この手紙、ヤコブが聖霊によって書いたこの手紙の、その部分にさしかかったとき、思うでしょうね。「ほ～～～！」だって、地元の人（ほ～が口癖）でしょう？だから、ほ～！！です。－(笑)－ ちょっと待ってください。悪魔でさえも信じている？ それだけでなく、、、皆さん聞いてください。悪魔たちは信じているだけでなく、身震いしているのです。彼らは震え上がっているのです。それからヤコブはこのように持ち出し、

「あなたは、信仰があると主張します。議論の目的として言うと、食物、水、衣服が必要な人に会って、あなたがただ通り過ぎただけとしましょう。「やあ、調子はどうだい？」「元気です。」「ねえ、今度ランチでもしようよ。では、またね。」「今、ランチにしない？私はお腹が空いてるんです。」

さあ、これが、私たちがする事でしょう？ ここは注意した方がいいですよ。誰かに「やあ、元気？」と声をかけるのは、形式的な習慣です。そして、私たちは、「はい、元気。あなたも元気？」という反応を完全に期待します。「祝福がありますように。主をほめたたえよう！」－(笑)－

そして通り過ぎて行く。どうなるのでしょうか？ たとえ相手が何か言ったとしてもです。これは何かを言うのではなく、何かを見る事です。この話に、後で戻りますが、しかし、もし誰かに挨拶した時に、「元気ですか？どうしてですか？」「元気です。」じゃなく、その代わりに相手が、「実はね、私上手くいってないの。ちょっといい？」「あっ、いや、そうだ、今何時？」その反応は予想外だった。そうではなく、「時間をとろう、本当はどうなの？」「実は、あまりうまくいってないんです。」それが、信仰と伴う

行いです。それが信仰から生じる行いです。ヤコブは示します。修辭的に問いかけてもいます。「あなたがたは証拠が欲しいですか?」「こっちには、いくらでも証拠があるんだから。証拠 A、証拠 B、証拠 C。証拠が欲しいですか? 私は証拠を見せましょう。行いの欠けた信仰は、無益だという証拠をあげましょう。」次の節にあります。しかし、彼が語っているのは、信仰は行動によって証明されるということ。「あなたは信仰によって救われたと言うが、私はその信仰を、行動で見たいのです。」「その信仰から行いが生じるところを見ててください。」信仰から行いが生じる。「ヘブル人への手紙 4 章 2 節」で、実際にこのことについて時間を費やしました。ヘブル書の著者は言います。

#### ヘブル 4

**2 というのも、私たちにも良い知らせ (福音) が伝えられていて、あの人たちと同じなのです。(これを聞いてください) けれども彼らには、聞いたみことばが益となりませんでした。...**

その理由は、

**... (なぜなら) みことばが、聞いた人たちに信仰によって結びつけられなかったからです。**

言い換えれば、それは役に立たない、取るに足らないもので、何の価値もない、死んだようなものだったので。なぜか? 混ざりあっていないからです。行動/反応があるはず。例えで解説します。

「水素と酸素を混ぜると反応が起こります。水素はそれ自体では単なる水素であり、酸素もそれ自体では単なる酸素です。意味深なのは分かっています。しかし、この 2 つを混ぜると、ふ〜〜水素と酸素を混ぜると分子が反応します。そして、既存の分子結合が切れ、酸素原子と水素原子の間に、新しい結合が形成されます。この反応により、爆発的にエネルギーが放出され、水が生成されます。」両方要るのです。H<sub>2</sub>O = 水素原子 (H) 2 つと酸素原子 (O) 1 つ それ単体では、役に立ちません。水素だけでどうしたらいいのでしょうか? 「水素を持ってきました。」どうもありがとう。主を褒めたたえます。神の祝福を。ここに酸素があります。また別の話かもしれませんが、でも、この 2 つを混ぜると? それが今話している事です。そして、これが核心です。このことは私たちにとっても真実で、行動/反応があるように、行いは、信仰と混ざり合うことで現れ、その理由は信仰が行いを生じます。皆さんいかがですか? 理解できましたか? 大丈夫ですか? ついて来れていますか? OK。それが信仰から生じる行い。私は、無益なものは求めません。そんなものは役立ちません。返品して、金返せってとこですよ。無益で、役立たずです。そんなもので、どうしろというのです? それがあなたの信仰です。それをどうするんですか? 無益です。何の価値もありません。役に立ちません。何の効果もありません。私にとって、全くメリットも価値もありません。ご辛抱いただきたいのですが、これは... ちなみに、牧師が解説的でなく、局所的に教えるのはこのためです。牧師は、このような箇所は、できる限り取り上げないのです。その理由は、ある人はこう言うでしょう、「ええ、運動集会に出たり、祈りを繰り返したり、私は.....」と。そして彼らは信仰告白します。彼らは、クリスチャンだと主張します。「ええ、私は信じている。私は神を信じている。」救いの良い知らせ・福音を伝えるのに、最も困難なのは、救われていないのに救われたと思っ込んでいる人です。私はむしろ、彼らに、反撃してもらいたいのです。なぜなら、その中で何かを見つけられるからです。いつかという、相手が喧嘩腰になったとき、そして「違う!!」と、互いに議論し合うのは、聖霊の働きだからです。でも、自分が救われていると思っている人と、どうやって議論できますか? 「ええ、私は信じていますよ。」じゃあ「ヤコブ 2 章」を引用して、「悪魔も信じている」と伝えるのもいいかもしれませんね。それが最後です。最後に、これを話します。あなたはクルセード (改革運動) を進めるため、祈り続けてきましたね、それは 1900... 皆さん、19 で始まる年って、随分昔の

ことですよね。ー(笑)ー では、若い人たちのために、2000年代と言いましょ。その方が良いですか？  
「そうです。信じて前進してきたのです。祈ってきたのです。」「OK。ではその実はどこにあるのですか？  
その証明はどこにあるのですか？ 証拠はどこにあるのですか？ どんな善行をしたのですか？」

「いや、私は信仰によって救われたのです。誰も誇らないように、行いによるものではありません。」

「分かっていますよ。しかし、♪ あなたが救われ、私がそれを知るには、あなたの人生が必ずそれを示すはず ♪ ーそれが見えないのですー その証拠がありません。」証拠がないってどういうこと？

「ええ、救われてる証拠もありません。信じると言いながら、確かな証拠がない。なぜなら証拠があるのなら、何らかの行動/反応があるはずだから。何かが変わるはず。水素が水素のままだし、酸素が酸素のままです。あなたを変えるような反応が起こったことがない。だから証拠が見られません。本件の請求を棄却。以上です。」

では、3つ目はもっと酷いですよ。準備はいいですか？21節から26節です。「義の証拠」です。

さて、これはとても興味深いことです。実は、今日のこの学びの準備のために、保存ノートを見返したところ、使徒パウロが「ローマ人への手紙」で、正にこのことを取り上げていることに気がつきました。彼はアブラハムに関するヤコブの言葉を反復していますが、その証拠としてダビデを例に出し、それが義として認められたと述べています。「彼の信仰は、義と認められました。」よく聞いてください。なぜならこれが証拠、言わば、法医学的証拠です。ヤコブが示しているのは、信仰に関してで信仰の結果としての証拠です。それは、義によって証明され、信仰によって義と判断されそれがその証拠です。そして、彼は非常に対照的な2つの例を描きます。1つ目は、問題なく、父、アブラハムです。パウロはまた、ローマの教会にも同様にユダヤ人の祖、アブラハムを持ち出し、「義の人」と語っています。(ローマ4章)

なぜか？ それは、アブラハムは自分の信仰を、自分の行動で示したからです。「お～これがアブラハムです。信仰によって。」へブル人への手紙11章を覚えていますか？ ”信仰によって”は『信仰の殿堂』と私たちは呼びます。信仰によって、彼はそうした。ああ、願わくば私たちがそう言われたいです。「信仰によって、JDはそうした。」それは、彼に信仰があったからこそできたことです。これが、アブラハムが信仰によって行ったことであり、行ったことによって、義と認められたのです。だから、これは大変立派です。私たちは素晴らしいことをしています。まさに、素晴らしい。私は、この"Smashing/素晴らしい"という単語が好きです。そしてヤコブは、異邦人の娼婦を持ち出します。あ～、お高くとまらないでください。ラハブを覚えていますか？ 覚えているはず。彼女は、世の救い主の系統の人物です。そのことを心に刻んでおいてください。なぜ彼は...つまり「頼むわ～ヤコブ。ちょっと待ってよ。アブラハム。それは分かりました。で、彼女(ラハブ)??? どうしたというのですか？」あ～どうしたのか教えましょう。彼女とアブラハムの共通点は、信仰を行いで示したことです。アブラハムはユダヤ人の代表でしょうが、娼婦ラハブは異邦人の代表です。つまり、基本的に、すべてに共通点があるわけ。ヤコブが彼女のしたことを持ち出して、それが彼女の\_\_\_が認められた。彼女の？そう、彼女の義が認められたのです。なぜですか？ なぜなら彼女は、2人の偵察を匿ったとき、信仰によってその行動をとったからです。その行動は、「OK。私はこうします!!!」(します!!!)これは、私に信仰があるからこそするのです。私は信じています。あなたもそうでしょうね。なぜなら、時おり、「彼らは信じている、信じているよ。」と言う人がいますが、彼らが信じているのをあなたは信じていない。今日は、私の話しの仕方があまり調子が良くありませんね。私はただ.....「聖霊様、この後あなたが取ってください。」私は信じています。あなたが信じてるとは信じません。ラハブのことは、信じます。ああ、あなたが信じているのを

私は信じます。なぜ、私が信じているのを、あなたは信じられるのですか？ あなたが命がけだからです。あなたは命をかけているから！ ラハブへの約束は、「もしあなたが、私たちのことを誰にも告げないなら、神が...」それが、彼女の願いだったからです。これは大きな収穫です。

「私は信じているし、何が起こるかも知っています。そして自分と家族がそこから救われることを望みます。」「分かりました。」(ヨシュア 2：9～14 参照)

それはとても魅力的です！ 類型論はまさに...桁外れです。彼女は赤いひもを、窓の外に結びつけます。お～類型論です！ ちなみに、十字架が、、、とにかく、、、時間が許しませんね。私に話させないでください。止めて下さらなくても良いです。自分で止めれますからね。信じてください。しかしそれは、緋色の罪を背負われるイエスの預言的描写です。

### 「あなたがたの罪が緋のように赤くても、雪のように白くなる」(イザヤ 1：18)

この女は評判の悪い女ですよ!!! あ～そして、彼女が世の救い主の系統にいます。女であるということだけで！ 間違っ出てきちゃいました。もう一度やってみます。皆さん、私に慈悲深くお願いします。しかし、中東の文化の中で、理解しなければならないことがあります。女性は.....ここではユダヤ人が、、、OK。主よ、分かりました。ユダヤ人にはこんな祈りがありました。『神よ、私が異邦人や犬や女に生まれなかったことを感謝します』母の日おめでとうございます。ー爆笑ーそれが、女性に対する考えです。それが、女性に対する考えなのです。そして私のアラブ文化では、悲しいことに、特にイスラム教に関連することで、、、イスラム教という偽りの宗教と人種を一緒にしないでください。それは違います。中東では、彼らは考えます。「女は無価値だ。女は無価値。」そして、世の救い主は、女からだけでなく、娼婦の系統からお生まれになるのです。それが私たち一人ひとりに希望を与えてくれるはずですよ。

「マタイの福音書」の節ごとの学びの時に、世の救い主の系統について学んだことを思い出します。もう何年も前のことですが、大変力強い学びをしましたね。そこを再度読むと、、、あ～その話には行きません。繰り返しますが、止めて下さらなくても大丈夫。自分で止めれますからね。しかし、そこに男が出て来て、とにかく、信じられません。イエスが、その系統のマリア側の家系からお生まれになるなんて。では、何がポイントなのか？ ポイントは、あなたの信仰が行いを生じ、それが義として証明され、あなたが義と認められるということです。そう、彼女は信仰によって救われていますが、救うのは信仰だということ。それをヤコブは理解させようとしています。だから修辭法で聞いているのです。「あなたは言うけれど、、、誰でも信じると言えますよ。誰でも、信仰があると言えますが、しかし、その信仰が救いますか？ その信仰が救いますか？」ええ、分かりません。「では私が言います。それが救いの信仰であるならば、それはあなたの行いによって証明されます。行いが証拠です。」私が救われたのは 40 年前で、証は人それぞれで、あなたにとってそれほど劇的でなくても構いませんが、私にとっては、とても劇的でした。つまり、それは.....ピンからキリまであって、つまり、言わば本当にラハブなのです。そして、これが段階的でないのは、非常に明白でした。忘れられないのが、友人がお母さんに言った時です。

「あいつ、本当に...凄い、変わったんだ。彼は最悪だったんだよ。彼のせいで僕らこんなことしたのに。」言い過ぎですね。その話はしません。「でもあいつは、一晩で変わったんだ。」そして、その友人のお母さんは言いました。「ああ、それはただの段階よ。」段階？ あ～あなたに見せてあげます。「40 年後の姿を見て。」高校生の時って、そういうのがあるじゃないですか。ちなみに、これは良くないですね。上手いきやすいですからね。皆さん、、、頼みますよ。そんな目で私を見ないでください。皆さんもそうだったでしょ？ 私はリストにさえ入っていませんでした。その写真には、功績が全部載っているんです。

ASG 会長、卒業生総代、学生スポーツの優秀 [受賞] 選手など。クラスメートの何人かは、巻物ヤリストを作っていましたね。そして、その横に私の写真があるのですが、下が真っ白状態なんです。(笑) 何もあります。それでいいのです。神が選ばれ使ってくださいますから。なぜなら

**「神は、知恵ある者を恥じ入らせるために、この世の愚かな者を選ばれる」(Iコリント 1:27)**

なんだか話が脱線しました。もう終わりますね。締めくくりに入ります。しかし、私が何が大好きか分かります？ 特に、新しく来た人や再訪問される人が、私にこんなことを言うのが好きです。その時の表情は最高です。こんな感じです。(哑然) (笑) 彼らが何を考えているか分かるので、好きなんです。なぜなら、私は人の心が読めるからです。(笑) 彼らは思っています。「あなたが???」「わお～もし神が...」ちなみにこれは褒め言葉です。全く侮辱じゃありませんよ。「神があなたのような人を通して語られるのなら、私を用いられることもできるはず。」そこがポイントです!!! その証拠は何か？ 信仰。信仰です。私は信仰によって、恵みによって救われ、その結果こうなりました。神がすべての栄光を手にとられます。私が信仰を持っていると言うと、あなたは私の生活を見て、「ああ、あの人は信仰を持っている」と思うでしょう。「あの人に信仰がある。」ってどういう意味ですか？

「だって彼を見てよ。彼がしていることを見てよ。信仰がないとできないよ。信仰があるから、ああいうことをするんだよ。」それが信仰です。それが証拠に、あなたが認められるのです。これは再度、ヘブル人への手紙です。ヘブル人への手紙に戻るわけではありません。しかし、言う必要があります。私たちは皆、それを知っていて、口にし、歌い、暗記します。

**「信仰がなければ、神に喜ばれることはできません。」(ヘブル 11:6)**

これを考えてください。言い換えれば、私が主張し、あえて言うなら今日ここにいる私たちの中で、神を喜ばせたくないと思う人は一人もいません。つまり、想像してみてください。誰か朝起きて、考えますか？「今日は何をしたら神の機嫌を損ねるかな。」もしあなたがそうなら、礼拝後、按手しないとイケません。(笑) 違います。私たちは神を喜ばせたいのです。私たちは、主の御目に適う存在でありたいですよ。しかし、ここがポイントなのは、信仰がなければ、神に喜ばれることはありません。

「あ～私は神を喜ばせたいです。」では、信仰。信仰がなければ、神を喜ばせることが出来ないなら、信仰があれば、神を喜ばせることが出来ます。「それなら私は信仰を持ちます。」もう一步踏み込みます。もう終わりです。一緒によく考えましょう。

神は、私たちの信仰に目を留められます。ただ私たちの信仰を喜ばれるだけでなく、私たちがその信仰で何かをするとき、神は、私たちの信仰に目を留められます。私はほとんど、、臨床名があるのは知っていますが、天の神をこう見えています。

主がそこに立っておられて、「よし、よし、何をするのだろうか？」”する” なるほど、彼は大口を叩いているね。「私は信仰の厚い男だぞ。」あるいは、こんなのはどうでしょう？「私は聖職者だぞ。」わたしはこの人物は要らない。OK。見てみよう。彼がどうするか見よう。みんな準備はいいか？みんな準備はいいか？ おお！わお～！ 今、彼が頼んだことを聞いたかい？ おっほっほっほ、これが信仰だね。

お前たち、降りて行きなさい。わたしはそのことが非常に嬉しく、そのおかげでとても祝福されている。彼がそれについてしたことは、お前たちに降りて行ってもらいたい。わたしは抵抗できないのだよ。」

それが信仰です。想像できますか？ 最後にさっとラハブに戻りましょう。想像できますか？彼女が自分の信仰に踏み出し、行動したとき、天で何が起こったかを。理解すべきは、彼女の住まいは、実はヨシュア記の物語の細部にあるように、壁の中にあつたと言われています。高価な不動産ですね。場所、場所、

場所ですから。彼女は良い場所に住んでいました。

問題：大抵、最初に崩れるのは城壁。

それがあなたの住んでいるところですか？ 申し訳ございませんが、お力になれません。場所が違えば、できるかもしれませんね。例えば、5番街や6番街に住んでいても、この壁の中にいれば、まずそこが壊れるでしょう。しかし、神は。彼女の信仰をとて喜ばれ、彼女の住まいは被害がなかったのです。被害なしです。こんな風に言っていていいですか？ 神は、私たちの信仰が抵抗し難いと思われると、主は抵抗することがお出来になりません。私たちが信仰に踏み出す時、それは、行いが生じる信仰だからです。ですから、ヤコブが言うのは、「あなたが信仰を持っていると言うなら、あなたの信仰を見せてください。私は、私の行いで信仰を見せます。」それが信仰です。それが信仰なのです。

祈りましょう。天のお父様。ふ～ ー(笑)ー

主よ、ここから先は、お願いします。あなたがいつも忠実であられる通り、聖霊が私たちの人生にこれを適用してくださいますように。どうか主よ、私たちが信仰と行いの関係を混同したり、混乱したりしないよう聖書的に理解できるように、してくださいますように。

主よ、私たちはこう言われる人たちに数えられたいのです。「わ～、彼らは信仰があると言う。私はそれを信じます。」お～私たちの信仰が、私たちの行動、私たちの行い、私たちの善行によって証明されますように。

主よ、御言葉を感謝します。厳しい時もありますが、良いことです。聞きたくない話かもしれません。もしかしたら、ある人にとっては叱責かもしれません。しかし、主よ、私たちはこれを聞く必要があります。主よ、感謝します。私たちはあなたをとて愛しています。イエスの御名において。アーメン、アーメン。

-----  
メッセージ by JD Farag 牧師カルバリーチャペルカネオヘ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

筆記 hukuinn7